

TACだからできる! 今年も当てます!

ズバリ
的中!

TACが誇るプロフェッショナル講師陣が過去の本試験問題を徹底分析しつつ、法改正など最新の試験情報も加味して作成した**珠玉の予想問題**です。

TACは今年も**良質の問題**を皆様にお届けいたします! (下記は昨年度の的中例の一部です)

平成27年度 1次試験 問題 【「企業経営理論」第1問(一部抜粋)】

プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント (PPM) に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- イ 競争優位性を期待できない「負け犬」事業からの撤退を進めるのに重要な資金供給源は「花形商品」の事業である。
→×(重要な資金供給源となるのは、「花形商品」の事業ではなく「**金のなる木**」の事業である。)
- オ プロダクト・ポートフォリオ・マネジメントの考え方は、外部からの資金調達を考慮していないが、事業の財務面を重視して事業間のマーケティングや技術に関するシナジーを考慮している。
→×(PPMには、**事業間のシナジー、相乗効果といった質的な面での評価が軽視されやすい**という問題点がある。)

平成27年度 1次試験 問題 【「運営管理」第12問】

新QC7つ道具に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 2つの事象を行と列に設定し、交差するところに存在する情報を記号化してデータの傾向をつかむために、**マトリックス図法**を用いた。
→○(正しい。)
- イ 効果的な日程管理を行うために、PDPC法を用いた。
→×(PDPC法ではなく、「**アローダイアグラム**」である。)
- ウ 目標達成プロセスの過程で想定外の問題が生じたとき、できるだけ早く目標に向かって軌道修正するために、**連関図法**を用いた。
→×(連関図法ではなく、「**PDPC法**」である。)
- エ 問題の因果関係を明らかにすることで、問題の原因の絞り込み、問題解決の手がかりの発見、問題の本質的な原因の発見に役立てるために、**系統図法**を用いた。
→×(系統図法ではなく、「**連関図法**」である。)

平成27年度 1次試験 問題 【「経営情報システム」第12問(一部抜粋)】

高信頼化へのアプローチに関する以下の①～④の記述と、その名称の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- ④ 故障や障害が発生した場合、システムの被害を最小限にとどめる動作をさせる。
- ウ ①: フォールトアバイダンス ②: フォールトトレランス
③: フォールバック ④: **フェイルセーフ**

平成27年度 TAC1次公開模試 問題 【「企業経営理論」第1問(一部抜粋)】

的中!

企業が複数の事業を展開していく際には、各事業の状況に応じて、限られた経営資源を配分していくことになる。これに関する記述として、最も適切なものはどれか。

- エ 花形である事業は、市場成長率が高く、相対的市場シェアも高いため、他の事業に投資するためのキャッシュの源泉となる。
→×(「花形」である事業は市場成長率が高いため資金流入も多くなる反面、マーケティングコストがかかるため資金流出も多く、キャッシュの源泉になるとは考えにくい。**キャッシュの源泉となるのは、「金のなる木」である。**)
- ウ PPMは、展開している事業をマッピングした上で、事業間の相乗効果を見据えて経営資源を効果的に配分し、全体最適を志向するものである。
→×(PPMには、**事業間の相乗効果、シナジーといった質的な面が考慮されない**という欠点がある。)

平成27年度 TAC1次公開模試 問題 【「運営管理」第19問】

的中!

品質管理における新QC7つ道具と分析内容の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

- ア 親和図法—事実、意見、発想に関する言語データを相互の親和性によって分類し、最適な日程計画を立ててスケジュールを管理する。
→×(親和図法ではなく、「**アローダイアグラム**」である。)
- イ **連関図法**—目的を達成するための手段を系統的に展開し、その体系をツリー状のわかりやすい図で表現する。
→×(連関図法ではなく、「**系統図法**」である。)
- ウ **系統図法**—一行に属する要素と列に属する要素に構成された2次元の表の交点に着目し、問題解決を効果的に進める。
→×(系統図法ではなく、「**マトリックス図法**」である。)
- エ **PDPC法**—事前に考えられる様々な事象を予測し、プロセスの進行をできるだけ望ましい方向に導く。
→○(正しい。)

平成27年度 TAC1次公開模試 問題 【「経営情報システム」第15問(一部抜粋)】

的中!

システム構成技術に関する記述について、最も適切なものはどれか。

- ア 故障が発生した際、あらかじめ指定されている安全な状態にシステムを保つことをフォールトマスキングとよぶ。
→×(フォールトマスキングではなく、「**フェイルセーフ**」である。)



■1次直前バック生・1次オプション講座のパンフレットのご請求はこちらから

フリーダイヤル
0120-509-117
【受付時間/9:30~19:00(月曜~金曜) 9:30~18:00(土曜・日曜・祝日)】

■TACホームページからのご請求

<http://www.tac-school.co.jp/>

TAC

検索